

たまご（他孫）育てを考える

NPO法人孫育て・ニッポン 理事長
NPO法人 ファザーリング・ジャパン 理事
ぼうだ あきこ
bouda@magosodate-nippon.org



ひとりの子どもを育てるには、村中みんなの力が必要（アフリカのことわざ）

お年寄りと子どもをはなしてはいけない。彼らを引き離すことは、
過去と未来を断つことと同じだ（アメリカンインディアンの言葉）

1. イマドキの子育て コロナでより進む隔離社会

- ・コロナ前の調査：知らない土地での子育てが72.1%（知人がいない土地での子育て）
- ・コロナ禍の妊娠出産、育児は本当に孤独。すべての関係性が断たれた
その結果、産後うつはコロナ前の3倍、約24%に。父親もうつに…
- ・パートナー以外に頼り先がない。ワクチン接種も、子どもの預け先がなく難しい

2. 核家族化、人口減少の課題

- ・人口減、核家族、親族の縮小により、見て、真似る機会の減少
- ・社会性を学ぶ機会の減少

ピンチはチャンス!! コロナ禍で地域に人が戻ってきた!!

3. 幸せは伝染する たまご（他孫）そだてのすすめ

- ・幸せは伝染する 他人の感情は、同居人よりも隣人や友人からのほうが伝染しやすい
800m以内に幸せな友人が住んでいると、自分の幸福感を感じる

Point 人々が社会的ネットワークの一部であるということ

おすすめ! 小さな友だち・たまご（他孫）を作ろう!!

4. たまご育て・ななめの関係が生み出すメリット

- 子ども： 自己有用感、社会性を育む
- 子育て世代： 親以外の先輩との関係性で子育ての学び、おしゃべり、相談相手ができる
- シニア世代： 地域に異世代の友人ができる。認知機能の低下予防、幸福感
- 地域： 幸せの連鎖。防犯、防災、減災

5. まずは第一歩を

あなたが明日から、実際にひとりできそうな子育て世代のサポートは、何ですか？

他のひとのために時間を使えたとき、時間は一番生きてくる

損することはない。喜びで心がいっぱいになる

（日野原重明/著「十歳のきみへ～95歳のわたしから」より 富山房インターナショナル）